

第 53 回 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉等技術委員会 議事要旨

日時：2023 年 6 月 16 日(金) 14:00～16:00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構会議室及びオンライン

1. 技術戦略プラン 2023 骨子案等について

機構事務局から、東京電力ホールディング(株)福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン 2023（以下「戦略プラン 2023」という。）の骨子案等について、主に以下のとおり説明を実施した。

○技術戦略プラン 2023 のポイントとして 5 点を記載予定。

- 1 点目：1 号機の水中 ROV による PCV 内部調査の状況及び今後の取組戦略について。
- 2 点目：2 号機の試験的取り出しに向けた準備状況について。
- 3 点目：3 号機の取り出し規模の更なる拡大に向けた燃料デブリ取り出し工法の検討状況について。
- 4 点目：ALPS 処理水の海洋放出に向けた取組方針について。
- 5 点目：廃炉の推進に向けた分析戦略について。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 機構は東京電力の廃炉作業に関して指導助言する立場にあることから、今後廃炉作業を進めていく上で生じるであろう課題に対し、先駆的な検討を進めることができるよう機構の役割を整理しておく必要がある。
- 研究開発の取組について、福島国際研究教育機構（F-REI）が実施する研究開発の情報を把握し、役割分担や連携方法について整理しておく必要がある。
- 処理水/汚染水のようにその名称によって人々の受け止め方は大きく異なる。今後風評被害を生じさせないためにも、これから発生する様々な廃棄物について、技術的な正確性を踏まえつつ、受け止める側がどのように受け止めるかについても十分配慮して名称を決めていくことが重要である。
- 人材育成・確保については、東電だけの取組ではなく、国や他の機関をも連携して廃炉を担う人材確保に向けた取組を実施することが廃炉作業を貫徹する上で重要となる。
- 専門的な知見をもった方から一般の方までの幅広い層に対し、NDFの考えや意図が適切に伝わる文書となるよう言葉や図の表現方法を工夫すべき。

2. 廃炉への取組状況について

東京電力から、福島第一原子力発電所の廃炉への取組状況について、ALPS 処理水の海洋放出に向けた準備状況及び 1 号機 P C V 内部調査の状況について説明があった。

以 上